

Ag (銀) を加えることで。暗所でも抗菌・消臭

可視光型 銀系抗菌光触媒コーティング 『ナノチタンAgコート』

銀系酸化チタンゾル (抗菌剤)

第3558460号

日本国

特許庁

銀系酸化チタンコロイド (コート剤)

第4038200号

日本国

特許庁

施工が簡単!

超微細な粒子でムラになりにくい。

養生なし!

機材を選ばないので養生不要。

コンプレッサー & スプレーガン施工!

【商品ラインナップ】

『ナノAgコート』150
下地兼抗菌クリーナー



『ナノチタンAgコート』1200
銀系抗菌光触媒施工剤)



『ナノチタンAgコート』S1200
可視光型光触媒施工剤)



専用設計の光触媒用スプレーガン



ノズル口径: 0.4mm

光触媒用スプレーガンは、専用設計により、高微粒化した均一な薄膜塗布を可能にしました。低飛散のため、作業者への拭き返りが少なく、作業環境を守ります。

塗装対応コンプレッサー 電動100V



持ち運びが楽!

質量15kg
一人でラクラク運べます。

静か!

静音設計67dB
現場近隣への騒音に配慮!

排気臭なし!

電動式オイルレスコンプ!
排気レスのクリーンな環境
で快適作業!

コイル式エアホース



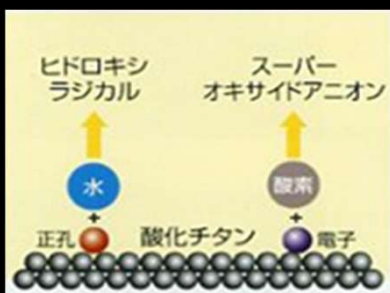
ナノチタンAgコートは業界初の新技術

銀系酸化チタン「ナノチタンAgコート」は「銀」+「ナノ技術」の融合

この度、ご紹介のナノチタンAgコートの主原料は銀系酸化チタンです。近年この酸化チタンはその機能（光触媒機能）が注目され多方面での利用研究、実用化されその需要を広げています。中でも、ナノチタンAgコートの主原料である銀系酸化チタンは、「銀系酸化チタン水溶液」と呼ばれ昔から食器などで高い「抗菌性」と「安全性」を備えた金属の「銀」と「酸化チタン」を超微粒子5nm化することで、これまでにない全く新しい定着原理を持ち、さらに利用価値を促進させる材料となりました。ナノチタンAgコートの主原料は、従来より販売されている抗菌剤と比較しても「抗菌効果」と「安全性」が非常に高く、環境にも配慮された「無機抗菌剤」として各公的機関のお墨付きを頂いている製品です。

光触媒「ナノチタンAgコート」はプラス「銀」で暗所でも24時間効果を発揮！

塗装やコーティングは施工直後が最も美しく、時間の経過とともにその美しさが失われていきます。ナノチタンAgコートでコーティングすると施工直後から酸化チタンの機能が発揮し、時間の経過とともに美しさが増していきます。ここでは不思議な酸化チタンの機能と原理を説明いたします。酸化チタンの一般用途は抗菌・ウイルス・防汚・防カビ・防藻・消臭・防錆汚染物質分解などで、多方面での研究開発実用化されています。これらは酸化チタンの持つ「光触媒機能」特性によるものです。酸化チタンの光触媒機能についてご説明いたします。（下記図参照）酸化チタン「ナノチタンAgコート」に光（太陽光・蛍光灯の光）が当たると表面に非常に強い酸化力を持つ電荷（電子・正孔）が発生し、そこに空気中の酸素や水が触れると活性酸素種（スーパーオキシドイオンとヒドロキシラジカル）が発生し、そこに汚れ（有機物質）が付着すると非常に強い酸化力により「水」と「二酸化炭素」に分解される。これが酸化チタンの光触媒の機能と原理です。光触媒技術は国産技術でもあり、東京ドームの天井にも施工され光触媒効果により「光」と「水」（雨）だけで防汚対策された日本のエコ技術が証明されています。光触媒の弱点は「光」が無いところでは効果は発揮されません。ナノチタンAgコートは「プラス銀」で光の無い暗所でも効果を発揮できる新技術です。



■ 電子+酸素＝スーパーオキシド
アイオン+ヒドロラジカルが生じる

■ そこに細菌・汚れ・悪臭が付着
すると酸化力により細菌等が分解され
空気中の酸素と二酸化炭素と結合
「水」と「二酸化炭素」に分解される。

ナノテクノロジー「超微粒子技術」＝ナノチタンAgコート

・粒子の大きさの違い……一般塗料の粒子は10～40 μ m(マイクロメートル)とされています。それに比べナノチタンAgコートの粒子は5nm(ナノメートル)で東京ドームが塗料の粒子だとするとナノチタンAgコートの粒子はテニスボール位の大きさになります。ナノチタンAgコートは下地の目に見えない隙間に入ることができるのです。
・バインダーの違い……従来の塗料は樹脂をバインダーとして下地と顔料を定着させています。ナノチタンAgコートは酸化チタンの超微粒子(5nm)が空気中の酸素をバインダーとして下地の細孔に定着します。他の樹脂を必要としないエコロジーな施工可能とした製品がナノチタンAgコートです。